

ふくいの森林・林業の未来を切り拓く基本計画（案）の県民パブリックコメント意見まとめ

Fukui Forest Design推進プロジェクト

番号	意見の概要	県の考え方
1	<p>12ページの「○森林経営管理制度の意向調査を活用した施業地の確保と集約化」について、集約化に否定的な人に譲渡されると森林施業に支障を来すので、施策の項目を「○森林経営管理制度の意向調査を活用するなど施業地の確保と集約化」にし、「意向調査以外でも森林を手放したい人から経営に熱心な担い手への譲渡を促進する」を追加してはどうか。</p>	<p>集約化の手法として経営に熱心な者（林業事業体等）へ森林の所有権を集約することも有効であると考えており、これまでもコミュニティ林業のなかで促進してきたところで、 次期計画でのコミュニティ林業について、主伐・再造林を見据えて、集落等と林業事業体の連携を強化していくこととしており、その中で引き続き森林の譲渡を含めた施業地の集約化を図ることとしております。</p>
2	<p>14ページの「Ⅱ.小さな林業（自伐型林業と副業）の推進」について、活動フィールドの確保や半Xビジネスは難しく、福井県の林業事業体は不足しているのので、「（3）自立できる林業事業体への移行支援」を追加してはどうか。</p>	<p>小さな林業は、自伐型林業と副業との組合せにより多様な働き方が可能であり、県内でも拡がりを見せています。今回の基本計画では、稼げる半林半Xのモデルづくり等を通じて自伐型林業を契機とした移住・定住を促進することで、山村地域の活性化を目指していきます。 林業事業体に対しては、利用期を迎えた森林資源を有効活用するため、生産基盤の整備等を支援しているところです。</p>
3	<p>18ページの「○木材事業者と商社との連携による都市圏やアジア圏を中心とした海外での販路開拓」について、米国への輸出が有力との情報もあるので、アジア圏だけでなく「米国等」を追加してはどうか。</p>	<p>アジア圏以外の地域についても海外市場の開拓に努めてまいります。</p>
4	<p>19ページの「○県・市町の公共施設等での利用推進」について、木材の防腐、強度の技術も進んできたが、公共土木工事での木材使用が少ない。カーボンニュートラルの観点からも治山・林道等の公共土木工事で木材をもっと使ってほしいので、表題の「公共施設等」を「公共土木工事等」に、文章内の「公共工事」を「公共土木工事」に修正し、工事で活用した写真も事例として掲載してほしい。</p>	<p>「公共施設等」や「公共工事」には、公共土木工事も含んでおり、治山・林道等の工事で木材を積極的に利用していきます。写真については、代表的な事例を掲載しております。</p>

ふくいの森林・林業の未来を切り拓く基本計画（案）の県民パブリックコメント意見まとめ

森を「守り」「活かし」「慈しむ」推進プロジェクト

番号	意見の概要	県の考え方
5	<p>24ページの「山地防災力の強化に向けた治山事業等の推進のための施策」について、メディアで拝見した福井市が取り組んでいる衛星データを活用した山地災害対応を、全県的に広げていけると良いと思う。市町には、専門の技士がいないところが多く、進めていくには県と市町が連携し、モデル地域を定めて実証・評価を行いつつ適応地域を拡大していくってどうか。</p> <p>また、森林関係の情報は、一部オープンデータ化されているが、ホームページ上でしか閲覧出来ないものも見受けられる。自治体や事業体、その他異業種の参入を促進していくためにも、今後もオープン化を積極的に進めて欲しい。特に山地災害危険地区は、防災の観点からも有用と思われるので検討してほしい。</p>	<p>衛星データを活用した山地災害等の被害調査は、導入している福井市の活用状況やメリット等を県事務所を通じ他市町へ普及PRすることで、県内での活用をさらに広げていきます。</p> <p>森林関係の情報は、現在国で都道府県の基礎的な情報を集約し、一元的に公開する準備を行っており、県でも国の動きに合わせてオープンデータ化を進めていきます。</p>
6	<p>32ページの「〇各世代に応じた森林環境教育の推進体制の整備」について、近年、SDGsやカーボンニュートラルの取組み等への森林の役割は、社会的に認知されつつあるものの、その働きは適正な森づくり活動を通じて発揮されるものであることは一般に知られていない。一方、子ども達への森林環境教育においては、昨今の教育部局の働き方改革等により学校のカリキュラムが影響を受け、森林や自然に対する関心が希薄になることが懸念されるので、教育部局に積極的に関与し、未来の福井の緑や森林づくりを支える青少年の、森林における自然体験活動を推進してほしい。</p>	<p>ご意見のとおり、幼少期から社会人に至るまで、各世代に応じた森林・林業体験等を県内各地で実施できるよう、各部局や市町等とも連携しながら推進していきます。</p>